

電波時計（ベル音目覚まし時計）取扱説明書

取扱説明書番号 E237-CXXY

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

(Y1005)

安全にお使いいただくために(はじめにお読みください)

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

警告 「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

禁止 してはいけない「禁止」内容です。

強制 必ず実行していただく「強制」内容です。

■誤飲による事故防止について

警告 小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

分解禁止 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

注意 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

■使用場所について

禁止 下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下のところでは、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿度が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- 軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

時計の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

おもな製品仕様

使用温度範囲 -10～+50℃
時間精度 表示精度 標準電波受信直後
秒針 ±1秒
時分針 目盛りに対して±3度
標準電波を受信しない場合
平均月差 ±30秒（常温中のクォーツ精度）
アラーム精度 表示時刻に対して±5分
使用電池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 2個
電池寿命 約1年 受信に成功し、1日7時間秒針停止
アラーム：30秒/日 照明：3秒/日使用
アラーム音 ベル音
スヌーズ機能 スヌーズボタンを押すと約5分間アラーム音停止
リピート機能 約2分間鳴り、約5分間休止を繰り返す
照明 ランプ式
ライトボタンを押している間と離してから4秒間照明

標準電波
受信局自動選択 福島局 40kHz/九州局 60kHz
電波受信機能 ON/OFF 切替
自動受信 7回/日
受信結果 ランプの点灯/点滅で表示

自動受信について
午前2時*、3時*、6時*、10時台、午後2時、6時、10時台の7回行います。いずれも16分40秒に受信を開始します。
*印の時刻は秒針が12時位置に停止します。
※針位置を修正するときに12時位置に移動することがあります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

単3形アルカリ乾電池 2個 取扱説明書 本書 保証書 1枚

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**

(フリーダイヤル)

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「4RKA02」をお伝えください。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

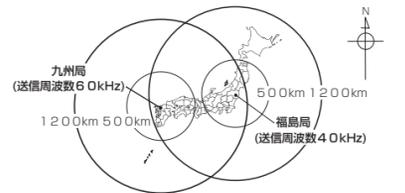
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。（http://jjy.nict.go.jp）

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電池のご注意（電池の正しい使い方）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かないところに置く。

電池の種類について

- 本製品は電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。⚠️ **アルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。**
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。（例：Panasonic オキシライド乾電池）

取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

注意 ●電池に傷をつけたり、分解しない。 ●電池をショートさせない。
●電池を充電しない。 ●時計を使用しないときは電池を取り外す。
●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

液もれが起きてしまったとき

警告 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

注意 もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場出荷するときに入れていますが、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。
- 買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

電池の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

注意 火に入れると破裂の原因となり危険です。

静電気による誤作動について

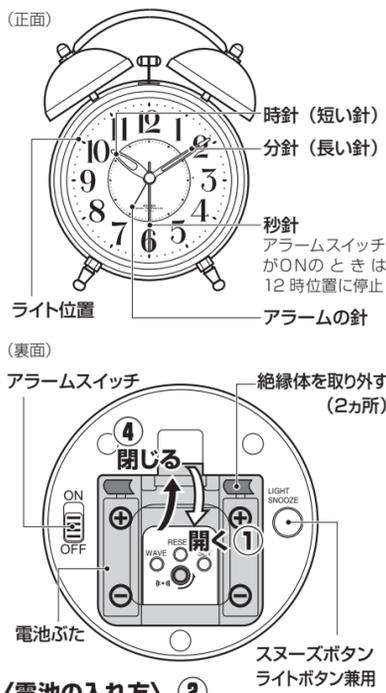
静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは強制受信ボタンを押してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

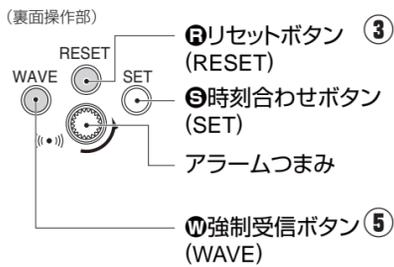
1 電池を入れて時刻を合わせる

図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



〈電池の入れ方〉②

電池ふたを開け、電池ホルダーの⊕⊖表示にあわせて、単3形アルカリ乾電池を2個入れて、電池ふたを閉じる。
◎絶縁体があるときには、取り外してください。



標準電波を利用しないで、手で時刻を合わせるときには、**〈手動での時刻合わせ〉**をお読みください。

◎窓際など電波の受信しやすいところで操作してください。

- ① 電池ふたを取り外す
- ② 電池を入れる 〈電池の入れ方〉参照
電池の⊕⊖を逆に入れると、電池からの液もれや発熱・破裂の原因になります。

- ③ ③リセットボタンを押す
針が早送りで12時位置に移動して停止し、受信を開始します。
※電池を入れた後は必ず③リセットボタンを押してください。

- ④ 電池ふたを取り付ける
- ⑤ 受信結果を確認する
最長15分程度受信を行います。受信が終わると針が早送りで時刻を示します。
※アラームスイッチがONのときは、秒針は12時位置に停止。

- ⑥ 強制受信ボタンを押してすぐに離すと、ライトで受信結果をお知らせします。
ライトは文字板面内にあり、照明と兼用です。
3回点滅 : 受信成功 (正しい時刻)
3秒間点灯 : 受信失敗 (不正確な時刻)
→ **〈電波を受信できない場合〉**へ
消灯 : 受信中

○受信の成功を表示していても、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えて、③リセットボタンを押してください。

2 アラーム機能の使い方

① アラーム時刻の合わせ方

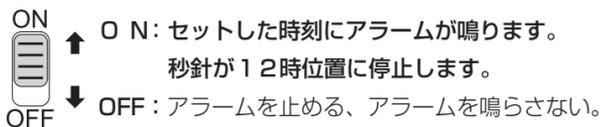
アラームつまみを矢印の方向(反時計回り)に回し、アラームの針をアラーム時刻に合わせます。アラーム時刻は10分単位でセットできます。



操作例 6時20分にセット

アラームつまみを回すと、10分単位に「カチ」とクリック感があります。アラームの針を7時に合わせ、6時方向に4回「カチ」とさせてください。

② アラームスイッチの設定



- ※リセットまたは強制受信操作により、電波を受信しているときは、アラームは鳴りません。
- ※アラームスイッチをOFFにしないと、午前と午後の2回アラームが鳴ります。
- ※アラームは、セット時刻に対して5分前から5分後の間に鳴り始めます。

□ アラームの鳴り時間

アラームセット時刻より30～60分間、スヌーズ機能またはリピート機能が使えます。

□ アラーム音の試聴

アラームスイッチをONにして、アラームつまみを回し、現在時刻に合わせてください。

□ スヌーズ機能とライト機能

アラームが鳴っているときにスヌーズボタンを押すと、アラームはいったん止まり、約5分後に再び鳴り始めます。(スヌーズ機能)
再び鳴らないようにするには、アラームスイッチをOFFにします。
スヌーズボタンはライトボタンを兼ねていますので、スヌーズボタンを押すと、約3秒間文字板面を照明します。

□ リピート機能

鳴っているアラームを放置すると、約2分間鳴り、約5分間休止を繰り返します。止めるにはアラームスイッチをOFFにしてください。

アラームご使用上の注意

- アラームを長期間使用しないと、ベル音の鳴りが悪くなる場合がありますので、2～3ヵ月に1回、約1分ぐらい鳴らすことをおすすめします。
- アラームの音量は調節できません。

電池の交換について 早めに交換して液もれを防ぎましょう

アラームや照明などの使用頻度により、1年未満で電池の交換が必要になることがあります。時計の進み・遅れが大きいきや照明をつけると正常に機能しなくなる場合は、指定の新しい電池に交換してください。



注意

電池からの液もれにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、つぎのことをお守りください。

- アラームが鳴らないときや時計が止まっているときは、電池を交換するか、電池を取り出す。
- 古い乾電池と新しい乾電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。



電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく

一般に夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える

電波の受信しやすい窓ぎわなどで、取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面を電波送信所に向けて、③リセットボタンを押して受信を試みてください。

●時刻を合わせて使用する

屋外たとえばベランダなどで標準電波を受信させるか、手で時刻を合わせてください。通常のクォーツ時計としてご使用になれます。**〈手動での時刻合わせ〉**参照

電波を受信しにくい環境

つぎのような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でのご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手で時刻を合わせてお使いください。受信機能がONの状態では、まれに日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

手動での時刻合わせ…電波を受信できないときや任意時刻に合わせるとき

電波を受信できないときや意図的に時刻を変えたいときは、手で時刻を合わせることができます。

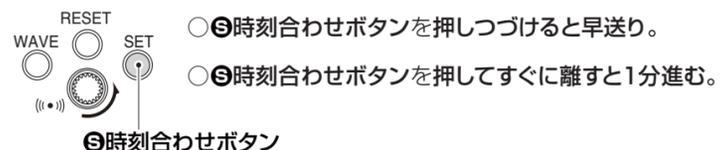
時刻合わせボタンを操作することにより、手で時刻を合わせることができます。

時間精度はクォーツ精度になります。

- 手で時刻を合わせても、電波の受信に成功すると時刻を修正します。

→ **〈電波受信機能のON/OFF〉**参照

④時刻合わせボタンを約3秒間押しつづけると手動時刻合わせになります。



※◎時刻合わせボタンを押している間は、秒針は停止します。

◎ボタン操作をしていないのに針が早送りしているときは、手で時刻合わせができません。通常の時刻表示のときに操作をしてください。

手動時刻合わせを終わるには

ボタンを6秒間操作しないでください。

強制受信とリセット操作

強制受信は、場所を移動したときなどに使い、リセットは電池を交換したときや静電気の影響などにより誤作動したときに使います。

⑥強制受信→受信に失敗した場合は時刻を継続。

③リセット→時刻を12:00にセットし、標準電波の受信機能をONにして受信を開始します。

強制受信は、⑥強制受信ボタンを約3秒間押し続けると、針が早送りになり12時位置に移動して受信を開始します。受信機能がOFFのときは機能しません。